

日本エコレザー対談④

佐久間 要氏

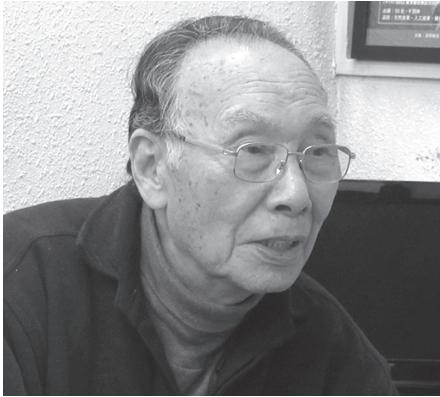
(㈱カナメ社長)

吉村 圭司氏

(NPO法人日本皮革技術協会 副理事長)

稲次 俊敬氏

(NPO法人日本皮革技術協会 副理事長)



佐久間氏

本物の革「ヌメ」一筋に60年。  
海外勢と闘うにはエコレザーで行くしかない

ジーンズブームでベルト用  
が飛ぶように売れた

吉村 今日墨田区向島で染革を  
専門にやっておられる㈱カナメ社  
長の佐久間様に登場いただきま  
した。早速、創業のころからのこ  
とをお聞きしたいと思います。

佐久間 実家は銚子の漁師でし  
た。私は跡を継ぐ気が全く無く、昭  
和33年(1958年)にヌメ革では  
当時、最大手だった田中新一商店の  
もとで10年間修行しました。

ここで創業者に革のことはすべ  
て叩き込まれました。創業者の口  
癖は、ヌメ革こそ本物の革だよ。ヌ  
メは呼吸するように染料で上げる

ものだよ。そうするのが死んだ牛  
への感謝の気持ちだよ。2年間  
のお礼奉公を済ませて昭和44年12  
月末に田満退社しました。

昭和45年1月からすぐにスター  
トしました。「お前はどこの出身  
だ」「三筋の田中新一商店の出で  
す」「っていつと、「じゃあどどん革  
を持って行け、支払いは後でいい  
よ」なんて応援してくれました。親  
方の信用保証はありがたかったで  
すね。うちはそれからヌメ革一筋  
で60年です。

吉村 自前の染色工場をつくら  
れたのはいつ頃でしたか？

佐久間 昭和の終わりの頃だね。

ジーンズのブームがあつて、厚手の  
1枚革のベルトが随分動いたん  
だ。当時、その革は栃木レザーさん  
が一手にやっていて、うちは栃木さ  
んに染めてもらっていた。そうした  
ら、同業の革屋さんから、カナメば  
かりに供給しないで半分に減らし  
てくれ、と苦情が出たんです。

困ったなと思つていた時、木下川  
(きねがわ)墨田区のタンナーが  
集積する地区)のある染革屋さん  
が廃業したんです。それで、私は働  
いている職人さんを全部引き受け  
て、一緒にやろうということになっ  
た。忙しかったよ。バブルが崩壊す  
る前くらいまで好景気でした。

吉村 原皮はどちらから調達し



吉村氏



ショールーム

ているのですか？

**佐久間** 半裁は北海道のホルスタインで、キップとゴートはバングラデシユとイタリアからです。イタリア物以外は姫路で下処理してもらい、クラスト(染色前の革)で入れます。

その後は、うちで染めから仕上げまで全部行います。顔料は一切使わず、植物タンニン鞣しと染料による染色にこだわっています。

### 手間もコストも惜しまず 付加価値を高める

**吉村** 手間が掛かりますね。

**佐久間** ものすごく掛かる。染料は四季折々、また、天候によっても状態が変わってくるから。ヌメ革っていうのは伸ばしが基本です。

革は、頭・尻・腹・背と部位によって繊維の方向が違う。その方向に沿って丁寧に伸ばしていく。そうしないと仕上がった革がよじれるんです。

**稲次** 私も駆け出しのころやらせてもらいましたが、なかなか簡

単なようで伸ばしや力の入れようが結構難しかったですね。

**佐久間** そうだね。何年もかけて覚えていくものだから。手を掛ければ掛けるほど良くなっていきます。伸ばすと判も少し大きくなるんだよ。うちは染料などの薬品は全部舶来品しか使わない。水は水道です。

**吉村** 贅沢ですね。

**佐久間** イタリアと同じように水道なんです。そうしないときれいな色が出てこないんだよ。工業用水じゃ色が濁るから。

**吉村** 植物タンニンなめしも昔とはだいぶ変わってきているのではないですか？

**佐久間** 昔は50〜60日もピット槽に漬けていたけど、今はちよつと短くなっているでしょう。

安く作るために早く上げるのね、合成タンニンだと、なめし剤が半分で出来ちゃうんですよ。それまで10の手間だったものが6〜7くらいで済む。昔は合成タンニン

が無かったから、全部植物タンニンでなめしていた。

今は昔のような本物のヌメはもう作れません。それはもうしようがない、時代の流れだから。

**吉村** 今は、クロムなめしが主流ですね。

**佐久間** クロムなめしが広まるまでは、ほぼすべてが植物タンニンなめしでした。

でも、手間が掛かり、高つくつからということ、革を量産するために薬品会社や技術者が研究して、クロムのなめし剤を作ったわけです。

### イタリアもアジア勢も 「サステナビリティー」

**稲次** ヌメは何と言っても天然の風合いが魅力です。

**佐久間** そうだね。うちで入れている北海道のホルスタインは下地が良くて、判も大きく、厚みがある。イタリア調で染めています。顔料を使わない、革のキズを隠さない。それがカナメの革です。



稲次氏

うちの材料を使って中国、ベトナム、タイなどに海外に製品輸出するメーカーさんはかなり多いんです。メイド・イン・ジャパンとして。

稲次 いいですね。

佐久間 だけども世界的にもものが売れていないから値段、品質がさらに厳しくなっている。

小売屋さんが安いものを望んでいるから、問屋さんも合わせざるを得ない。結果として安い革が求められる。でも、うちがその流れに合わせていたら、カナメらしさがなくなっちゃうものね。

価格のことばかり言っていると、世界から置いて行かれちゃうと思っんですよ。

今、世界的に革離れが起きてるじゃないですか。だからイタリアは、東京レザーフェアなどでサステナビリティ(持続可能性)を前面に出してPRしています。

さらに、東南アジアあたりがLWGの認証(レザー・ワーキング・グループ)ヨーロッパ基準の持続可能性を取って後を追っかけています。サステナブルな基準で世界は動いています。

ヨーロッパがTPPとかEPAで攻勢をかけてきている。革だけでなく製品でもどんどん入ってくる。そんな時代に、日本の業界は価格志向だけでいいのかということですよ。

### 若い人たちに革の知識と魅力を伝える

吉村 カナメさんは香港のAPLF展には何度か出ていますね。

佐久間 3回出たけど、今年は1回お休みします。

いま、香港はコロナウイルスで大変。中国からは人は来にくいだろうから展示会にならないですね。3回出て社名は覚えてもらえませんでした。革もほめてもらえた。アジアでこんなにいいヌメをやっているのって。でも買っかついていうと、そこまでいかない。

展示会は出しっぱなしじゃうまくいかないです。相手の会社を訪問するくらいでない。自社の事務所が香港にあればいいけど、うちは無いです。メールだけではなかなか進まないよ。この辺がうちの課題かな。

吉村 評価されて自信になったのでは？

佐久間 彼らはサステナビリティで革を判断しているから分かるんです。来年あたりから規制がもつと厳しくなるよ。日本も国際的にのっつて行かないとこれから商売ができなくなる。

吉村 最近、ちょっとエレガントとしかドレッシーな革が出てきていないんじゃないですか？

佐久間 天然志向、本物志向の需要はこれから出てくるんじゃないですか。現在、クロムの安物の革に目が行っているけれど、そのうち飽きて来ますよ。

吉村 革離れとかよく言われます。

佐久間 革離れというより、若い人たちが革のことを良く知らないんだね。特に、10代とか若い子たち。靴もバッグも布やナイロンは手入れが楽だし。雨の日も安心で軽い。使い捨てですよ。これが文化になるとこわい。



佐久間氏



カナメ染色工場

うちに毎年のように、デパートの販売員が20人くらいで勉強に来るんですよ。革を並べてどれが一番良い革ですかって聞くと、顔料染めのものが一番だと言ったよ。

**吉村** 色がそろっていてキズもななく一見きれいな革だからでしょうか。

**佐久間** そう。だから言ったの。これは質の悪い革だから、顔料を塗ってきれいにしてるんだよ。人間でいうと、女性は年を重ねてくるとシミやシワを隠すために化粧が厚くなるでしょ。ああ、そうなんだと納得されますよ。

でも、イタリアの革と国産の革と比べてどっちだといって聞くと、ちゃんといつも選ぶんだよ。判断できないうわげじゃない。

**稲次** いろんな業種のメーカーさんと摺り合わせて素材開発されるのでしょうか。今はどうですか？

**佐久間** ベルトが出なくなつて、今は小物とかバッグ用が多いね。このシヨールームで話し合います。そういうのは楽しいね。

去年は大手自動車メーカーの革シートを50枚くらい作りました。

**吉村** この革ですか。いいですね。

**佐久間** そう、私も気に入っているの。ソフトだけど伸びない。値段はいくらでもいいから、本当にいいものを作ってくれて言われてね。先方が納得するまで、何度もやり直して、3カ月くらいかかったよ。ヌメはね、手間を掛ければ掛けるほどいい革になっていくんだ。

### 安心・安全のエコレザーが武器になる

**稲次** 日本エコレザーの認証をおり取りになったらどうですか？

クロムを使っていないから、基準に適合しやすいと思うのですが。

**吉村** 以前、認証を取られていましたね。

**佐久間** 今はやっていません。提案してもメーカーさん、問屋さんは反応してくれないもの。でも日本でもエコレザーをやっているかなきやまずいよね。海外と取引する

とき、認証があると優位なんですよ。

実は昨日、関東染革協同組合の新年会があり、そこで私がエコレザーの取得を提議したんです。みんな賛同。これからはヌメだということでも一致しました。

**吉村** では、組合全体でチャレンジしましょう。

**稲次** 現在、ワンランク上の新日本エコレザー(仮称)を検討しています。この認定を取得すれば第一号になります。

**佐久間** 認定の条件は何ですか。まず色落ちでしょ。色落ち対策はどうしたらいいのかな。

**稲次** 薄い色なら大体大丈夫じゃないですか。

**佐久間** 黒や濃紺はやっぱり色落ちするでしょ。イタリアあたりはどうなんだろう。

**稲次** 海外の革を調べると、やっぱり染色堅ろう度で大概アウトです。特に、素上げは。



カナメ染色工場

**佐久間** 堅ろう度を上げること自体は難しくないけれど、革の味がなくなっちゃうのよ。

**稲次** そういう意見はたくさん聞かれています。ナチュラルな素上げタイプについては現行の基準を見直そうと検討しています。

**吉村** あとは重金属の含有量や一部の脱脂剤ですね。発がん性の特定芳香族アミンを生成するアゾ染料を使っていないことも求められます。

**佐久間** うちはヌメ革自体がもうエコだけど、染料とかはやっぱ検査しなくちゃいけないね。その薬品入れないといい色が出ないっていうこともあるから。

**吉村** そうですね。特に、黒色などは一部の薬品屋さんで、いい色を出すために止むを得ず規制されている染料を混ぜて提供していると聞いたことがあります。

**佐久間** 薬品会社と話し合っていないかなきゃいけない。

**稲次** そうすれば安心です。

**佐久間** その辺は日本エコレザー基準のパンフレットには詳しく書いてあるんですよ。

**稲次** はい、書いてあります。鉄は熱いうち打て、ですね。早速行動に移しましょう。

**佐久間** スピードアップしなきゃいけないね。

### 日本エコレザー、6つの条件

- ①天然皮革である
- ②発がん性染料を使用していない
- ③有害化学物質の検査をしている  
(ホルムアルデヒド、重金属、PCP、禁止アゾ染料)
- ④臭気が基準値以下
- ⑤適切に管理された工場で作られた革  
(排水、廃棄物が適正に管理された工場での製造)
- ⑥染色摩擦堅ろう度が基準値以上



※これまでの「日本エコレザー対談」は、[www.japan-ecoleather.jp](http://www.japan-ecoleather.jp)のトップページの「業界情報」の項でご覧いただけます。